



2026 年 7 月 30 日

各 位

上 場 会 社 名	群 栄 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名	代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎
コード番号	4 2 2 9 東証プライム市場
本 社 所 在 地	群馬県高崎市宿大類町 7 0 0 番地
問い合わせ先	取締役 執行役員コーポレート本部長 丸山 克浩
電 話	027-353-1810

食品事業からの撤退とGCIグループ中期経営方針2030の見直しに関するお知らせ

当社は、2026年7月30日開催の取締役会において、食品事業からの撤退と2031年3月期を最終年度とするGCIグループ中期経営方針2030を見直しすることについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業撤退の背景

当社の食品事業は、長年にわたり異性化糖をメインとする糖化品の製造・販売を展開してまいりました。足元の業績におきましては営業黒字を確保しているものの、同事業を取り巻く環境は急速かつ構造的に悪化しており、実質的なキャッシュフローはマイナスが継続する極めて厳しい状況にあります。

当社は現在、「GCI グループ中期経営方針 2030」（以下、「中期経営方針 2030」）において事業ポートフォリオの抜本的な変革と資本効率の向上を掲げております。上記の事業環境を総合的かつ慎重に協議した結果、食品事業における抜本的な収益改善は困難であり、事業を継続した場合のキャッシュアウトリスクを回避するためには、同事業を速やかに停止することが最善の経営判断であるとの結論に至りました。今後は、当社の主力である化学品事業等の成長領域へ経営資源を集中させ、グループ全体の収益性と企業価値の向上を図ってまいります。

2. 対象事業の概要

（1）事業内容

異性化糖、ぶどう糖、及び水あめの製造並びに販売

（2）対象事業の売上高（2026 年 3 月期実績）

4,564 百万円

（3）対象事業に携わる従業員数（2026 年 3 月期実績）

35 人

対象事業に従事する従業員につきましては、適性を考慮の上、当社の主力である化学品事業等への配置転換を行い、雇用を継続維持する方針であります。

（4）事業撤退のスケジュール

製造停止時期：2026 年 12 月末（予定）

販売終了時期：2027 年 1 月末（予定）

3. 特別損失の計上と今後の見通しについて

食品事業からの撤退を決議したことに伴い、2027年3月期第1四半期連結会計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）において撤退に伴う費用として特別損失に384百万円を計上いたします。また、2027年3月期の業績への影響については、本日公表の「連結業績予想及び配当予想（設立80周年記念配当含む）の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

4. 中期経営方針2030の修正について

（1）修正の内容

	2031年3月期 (修正前)	2031年3月期 (修正後)
売上高	40,000百万円	37,000百万円
営業利益	4,000百万円	4,000百万円
営業利益率	10%	11%

（2）修正の理由

当社は、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、中期経営方針2030を推進しております。今般、食品事業からの撤退決議に伴い、持続的な企業価値の最大化に向けた事業ポートフォリオの再構築（選択と集中）を行うため、中期経営方針2030における目標値を修正することといたしました。

食品事業からの撤退により、中期経営方針2030最終年度（2031年3月期）における連結売上高の目標値は減少いたしますが、これまで同事業に投入予定であった経営資源を、電子材料分野をはじめとした成長領域へ集中的に再配分いたします。これにより、連結営業利益目標（4,000百万円）は維持しつつ、営業利益率の向上（11%）、自己資本利益率の向上（6%）にむけた財務体質の構築並びにCO₂排出量の大幅な削減（46%→50%）による脱炭素経営の推進を目指してまいります。

以上の事業ポートフォリオ転換を反映し、中期経営方針2030における売上高及び営業利益目標値を、実態に即した最適な目標へと修正いたします。

以 上